

令和8年度 富士見町特別職報酬等審議会 議事録

日 時：令和8年10月23日（金） 午後6時00分～午後7時46分

場 所：役場1階会議室

出席者：会長、委員7名

町長 渡辺葉

議長 小倉裕子、副議長 牛山吉彦、議会事務局長 名取俊典

総務課長 小林裕樹、庶務人事係長 三井美紀、財政係長 名取淳二

1. 開 会〈総務課長〉

2. あいさつ〈町長〉

3. 委嘱書交付

4. 会長の選出

商工会 会長 西村章さん

5. 審議会の公開・非公開の決定について

審議員の同意を経て、「公開」とした。

6. 審 議

(1) 諮問書提出

町長より、会長へ諮問書（別添）が提出された（提出後、町長は退出）。

(2) 特別職（議員）の報酬について

事務局等からの説明に対し、委員から以下の質疑および意見が出された。

（質疑後、議員・議会事務局は退出）

● 算出根拠やモデル算定に対する疑問

○ 最低賃金の上昇に伴う議員報酬の見直し自体には賛成するものの、町長の給与をベースに算出することや、責任の重さが違う点から疑問の声が上がった。また、議員の活動日数は個々の差が大きいことから、それを算出根拠にすることについても疑問視する意見があった。

○ 引き上げ率は算出されていないこと、期末手当率は全国一律であることが確認された。

● 町長給与の扱いについて

○ 町長の給与見直しを行わない理由について問われ、「理事者の判断による」との説明があった。これに対し、なり手不足の解消や質の向上のためには町長の給与も見直すべきではないかとの指摘があった。

(3) 町の財政状況に関する情報共有

財政係より町の財政状況について説明が行われ、共有された。

(4) 審議

【委員の主な意見】

提示された報酬見直し案に対し、各委員から多角的な意見や懸念が示された。

- 近隣自治体・類似団体との比較の必要性
 - モデル算定や活動日数による算定に疑問が呈され、町の財政状況を鑑みつつ、下諏訪町を上回らない金額や、人口規模・財政規模が似た近隣市町村の金額を参考にすべきとの意見で一致した。原村が過去に富士見町を参考にした経緯を踏まえ、富士見町も周辺自治体の水準を見るべきであるとの指摘があった。
 - 飯島町の報酬審議会のように「引き上げ率」で答申している事例も参考にすべきだとの意見があった。
- 住民への説明責任と納得感
 - 住民アンケートにおいて、見直しの必要性は認められつつも、提示された金額に対して「わからない」「高い」との回答が半数を超えていることから、住民が納得できる根拠を示すべきであるとの意見が出された。
- 議員活動の評価と質の向上、報酬体系の課題
 - 議員個々の活動量や質には大きな差があるため、頑張っている議員には報いたいという気持ちがある一方、民間のような評価性の導入は難しさもあるといった意見があった。
 - 議長と議員の報酬額の差が大きい点についても、水準の妥当性を含めて改革の必要があるとの指摘がなされた。

【決定事項・今後の対応】

委員からの意見を踏まえ、委員長より以下の方向性が示された。

1. 増額案の再検討と資料作成
 - 近隣市町村の水準に見合った増額案を事務局で再作成すること。
 - 人口や財政規模が同規模の自治体との比較資料をあわせて作成すること。
2. 今後のスケジュール
 - 次回会議：11月5日（木）17:00より開催する。
 - 事前確認：会議の前に、再検討した増額案を各委員に送付して確認を行う。
 - 条例上程：来年度予算への反映および周知期間の確保の観点から、議員報酬見直しに関する条例改正案を12月議会に上程することを目指す。

7. 閉 会〈総務課長〉